

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

（宛先）高槻市長

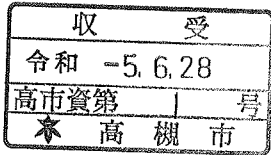
提出者

住 所 高槻市今城町25-3

氏 名 株式会社エーアンドエー大阪
取締役社長 植手 啓介

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-685-1928



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社エーアンドエー大阪
--------	---------------

事業場の所在地	高槻市今城町25-3
---------	------------

計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日
------	-----------------------

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	21：窯業・土石製品製造業
--------	---------------

②事業の規模	2,401百万円
--------	----------

③従業員数	94人
-------	-----

④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり
-----------------	---------

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙②のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排出量	10.28 t	30.5 t
	(これまでに実施した取組) 毎月の会議体で排出量を確認し、情報の共有や指示等が実施できる社内組織を整備している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排出量	10.00 t	20.00 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を維持する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 陶磁器くず(2種類)、石綿含有陶磁器くず、廃プラスチック類、木くず、ガラスくず、無機性汚泥、蛍光灯、水銀灯はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別を維持する。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

陶磁器くず①	陶磁器くず②	陶磁器くず③	石綿含有廃棄物
88.19 t	54.77 t	46 t	37 t

②計画

陶磁器くず①	陶磁器くず②	陶磁器くず③	石綿含有廃棄物
90.00 t	50.00 t	40 t	20.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

無機性汚泥	蛍光灯		
25.1 t	0.039 t	t	t

②計画

無機性汚泥			
20 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	5,169.7 t	t
	(これまでに実施した取組) 製造過程で生じる裁断片および不適合品を破碎、粉砕処理後にリサイクル原料として使用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4,870.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 製造過程で生じる不適合製品を減らす事で全体の数量を減らし、再生利用の取組を継続することで排出量の低減に努める。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	10.28 t	30.5 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	10.28 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	30.5 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) マニフェストについては年度毎にファイリングして排出(委託)量を素早く把握できるようにしている。 毎月の会議体で排出量を確認している。委託業者への手配状況を事務所内で情報を共有化している。		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

陶磁器くず①	陶磁器くず②	陶磁器くず③	石綿含有廃棄物
37 t	54.77 t	46 t	37 t
37 t	54.77 t	46 t	37 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

無機性汚泥	蛍光灯		
25.1 t	0.039 t	t	t
t	0.039 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
25.1 t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	10 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 製造過程で生じる不適合製品の再生利用の取組の継続と不適合製品の全体の数量を減らすことで排出量の低減に努める。			
※事務処理欄			

②計画

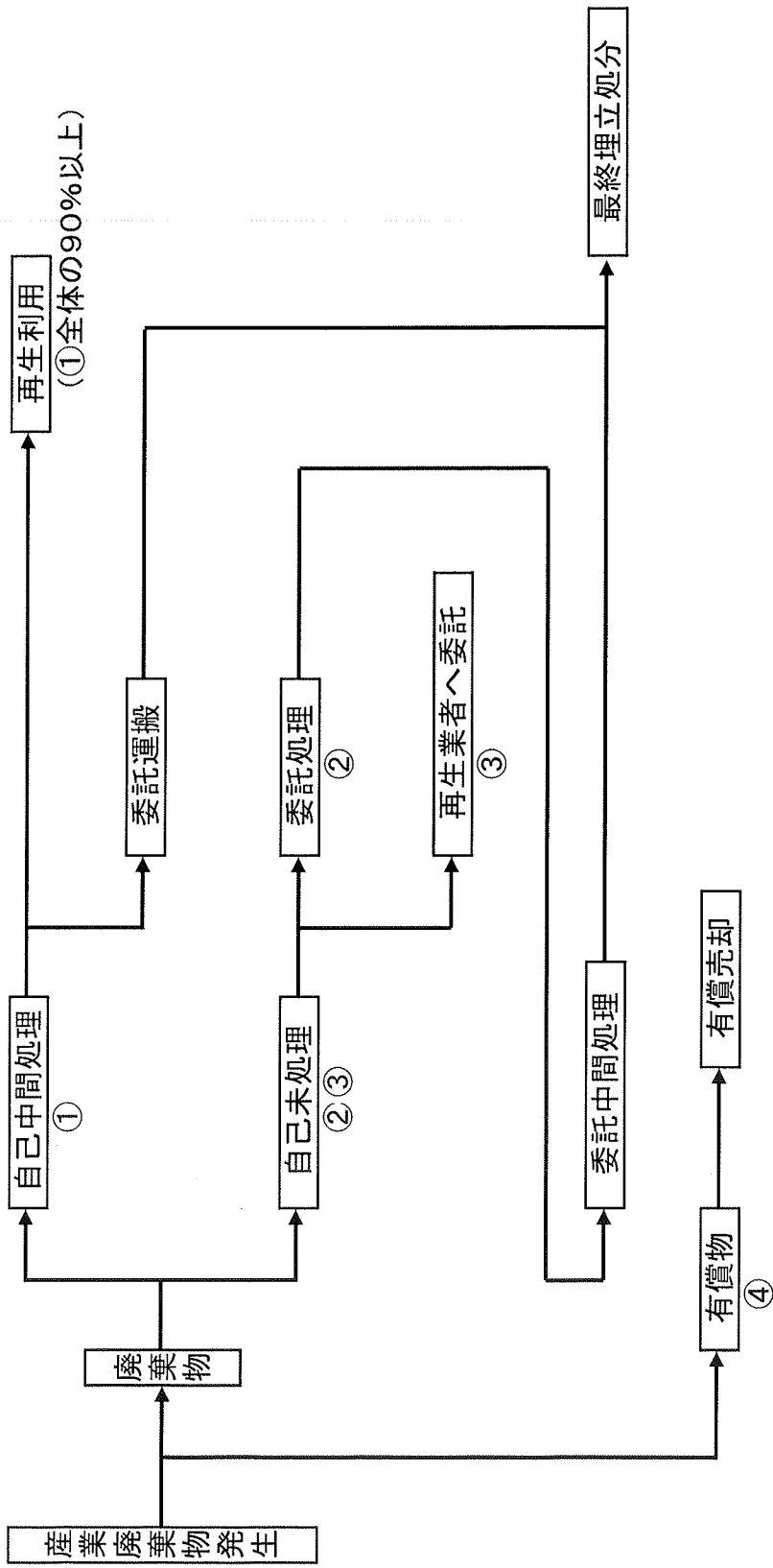
陶磁器くず①	陶磁器くず②	陶磁器くず③	石綿含有廃棄物
90 t	50 t	40 t	20 t
90 t	50 t	40 t	20 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

無機性汚泥			
20 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
20 t	t	t	t

産業廃棄物処理工程フローシート

(株)エーアンドエー大阪

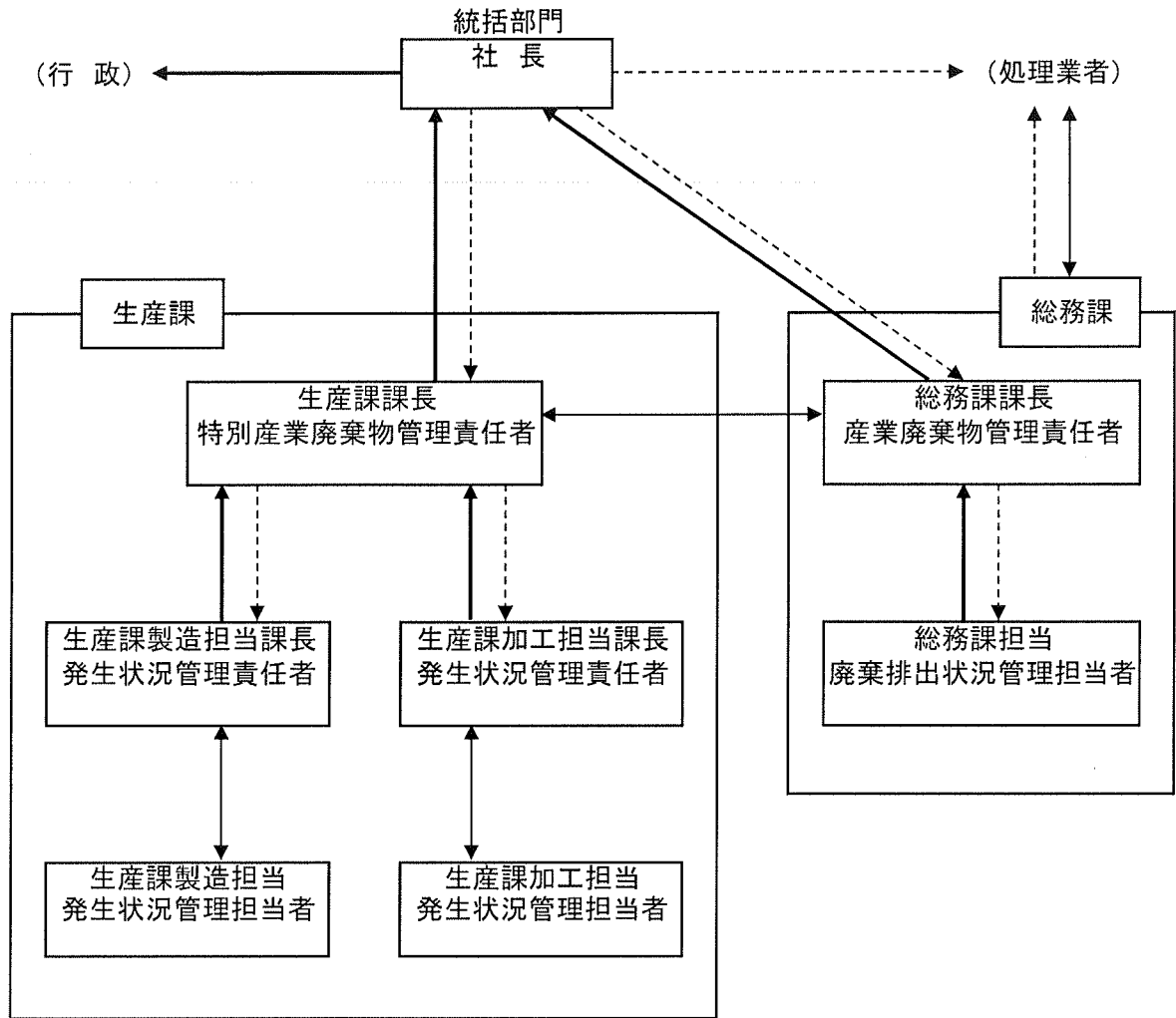


○発生産業廃棄物品目

- ①陶磁器屑
- ②汚泥
- ③木屑
- ④廃油

別紙②

管理体系図



→ 報告

- - - 指示

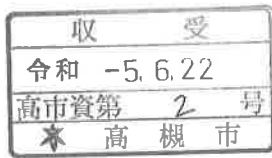
↔ 相互連絡

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

高槻市長 殿



提出者

住 所 大阪府大阪市此花区伝法4丁目3番59号

氏 名 鳳工業株式会社 代表取締役社長 齊藤 伸一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6464-6873

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鳳工業株式会社 建設工事部
事業場の所在地	大阪府大阪市此花区伝法4丁目3番7号
計画期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	2,500,000千円
③従業員数	30名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・道路建設工事(舗装工事) がれき類(アスファルト・コンクリート塊)→再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化 ・解体工事 がれき類(アスファルト・コンクリート塊)→再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・別紙管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	1590 t	t
	(これまで実施した取組) 発生した9割以上を再生業者に委託している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	1600 t	t

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・他の廃棄物と仕分けしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	1,590 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,590 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	1600 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1600 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認する。 ・行政処分の有無確認		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

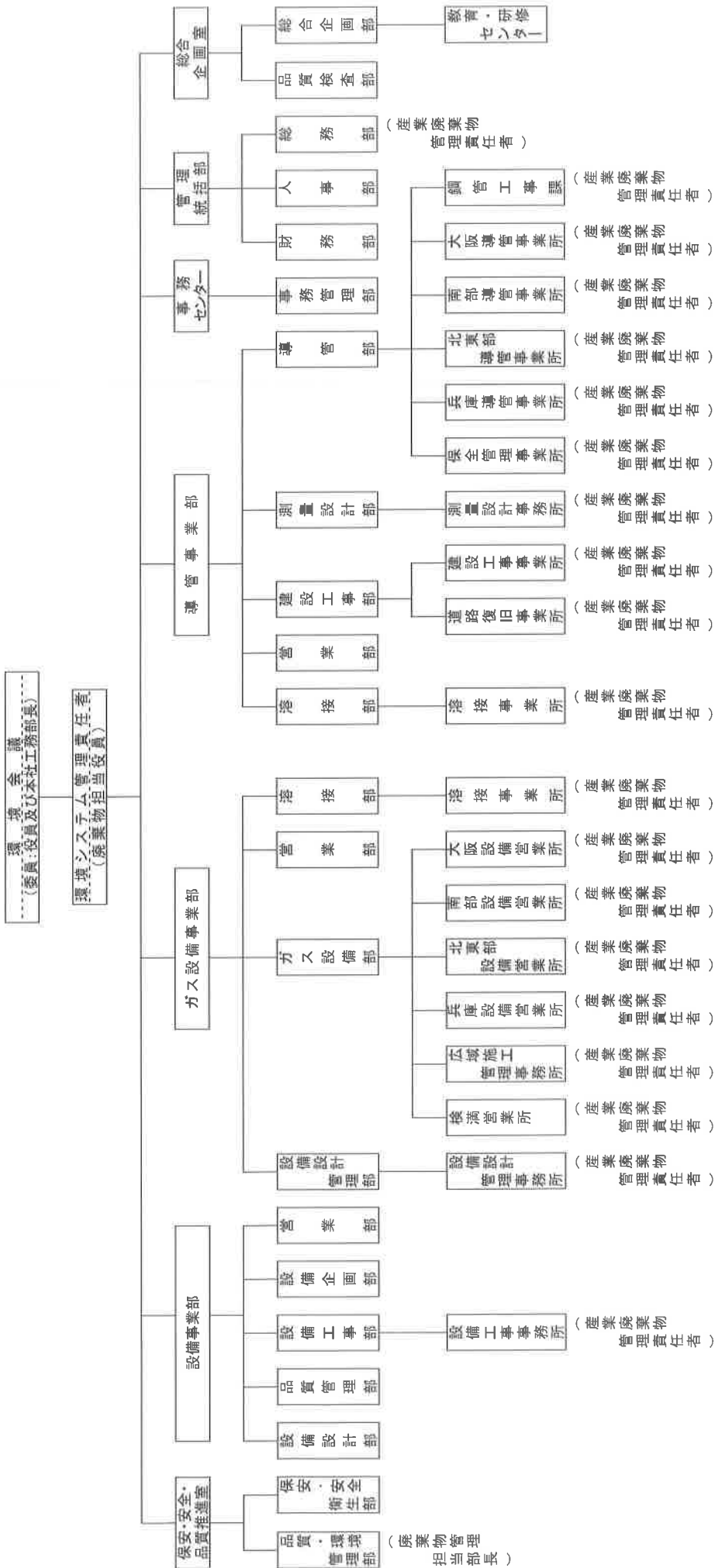
前 年 度 【 令 和 4 年 度 】 実 績

事業年度の種別 コード 事業年度の種別	計 画 の 実 績 状 況										2+4④ 2の量と4の量を 合算したものの口 算計	2+4⑤ 2の量と4の量を 合算したものの口 算計	
	①発生量 (a)	②自己取組 発生削減した量 (b)	③共同取組 発生削減した量 (c)	④共同取組 発生削減した量 (d)	⑤共同取組 発生削減した量 (e)	⑥共同取組 発生削減した量 (f)	⑦共同取組 発生削減した量 (g)	⑧共同取組 発生削減した量 (h)	⑨共同取組 発生削減した量 (i)	⑩共同取組 発生削減した量 (j)			
1 501 コンクリート塊	11									11		0	0
2 502 アスファルト・コン クリート塊	1,579									1,579		0	0
3												0	0
4												0	0
5												0	0
6												0	0
7												0	0
8												0	0
9												0	0
10												0	0
11												0	0
12												0	0
13												0	0
14												0	0
15												0	0
16												0	0
17												0	0
18												0	0
19												0	0
20												0	0
合計	1,590									1,590		0	0

(注)1)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

鳳工業株式会社 廃棄物管理体制図

令和5年4月1日現在



産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 28日

（宛先）高槻市長 殿

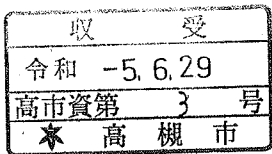
提出者

住 所 大阪市中央区北浜3-5-29日本生命淀屋橋ビル

氏 名 株式会社大林組大阪本店
取締役副社長執行役員大阪本店長 村田俊彦

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-7632-8714

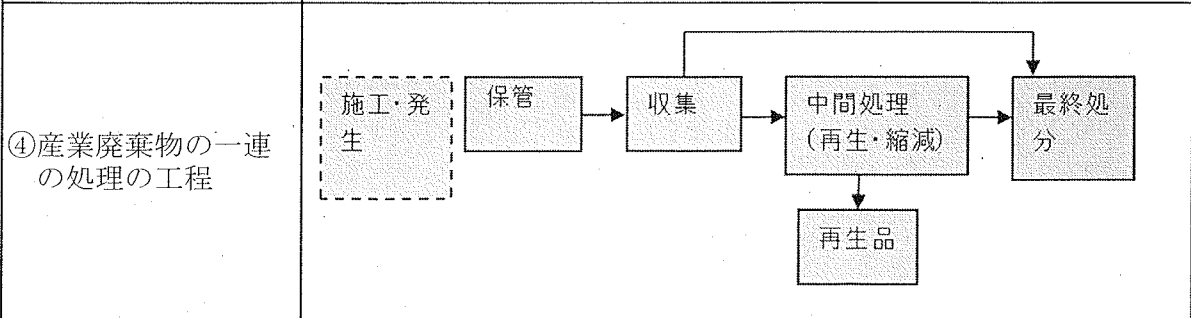


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

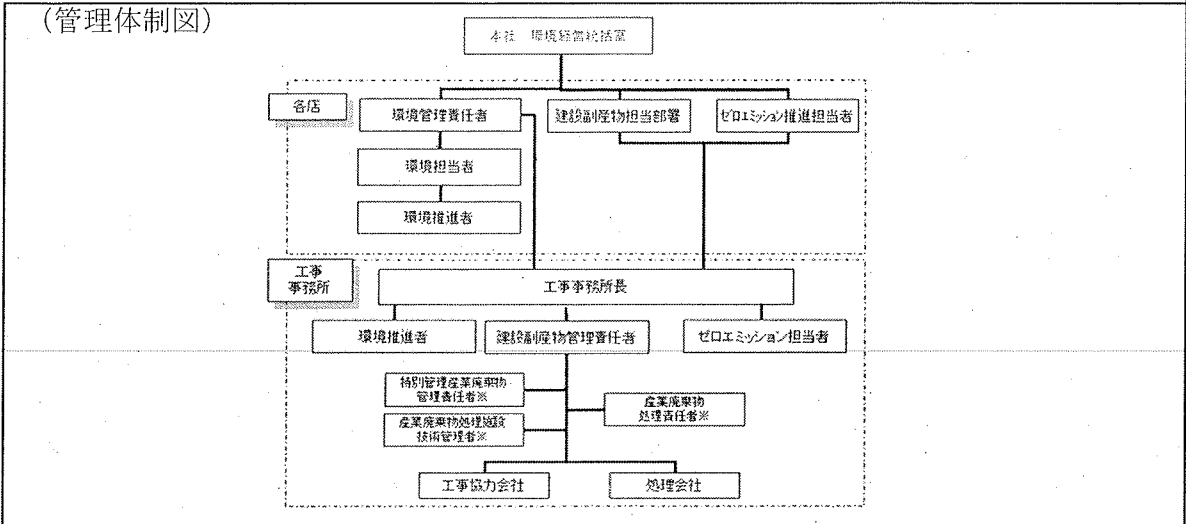
事業場の名称	株式会社大林組大阪本店 高槻市管轄区域内事業場
事業場の所在地	高槻市管轄区域内
計画期間	令和5年4月1日 ~令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	875百万円
③従業員数	2,175名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥_建設汚泥	廃アルカリ
	排出量	756.44 t	54.00 t
(これまでに実施した取組)			
①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定			
②産業廃棄物の削減方法			
・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等）			
・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥_建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	700.00 t	5.00 t
(今後実施する予定の取組)			
①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定			
②産業廃棄物の削減方法			
・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等）			
・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値を設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値を設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

がれき類_がれき類	がれき類_コンクリート破片	がれき類_アスコン破片	建設系混合廃棄物_管理型建設系混合廃棄物
42.00 t	7,063.52 t	1,543.67 t	103.29 t

②計画

がれき類_アスコン破片	建設系混合廃棄物_管理型建設系混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物_石綿含有がれき類	
1,500.00 t	100.00 t	50.00 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥_建設汚泥	廃アルカリ
	全処理委託量	756.44 t	54.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	33.80 t	54.00 t
	再生利用業者への処理委託量	756.11 t	53.30 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ①リサイクル率の目標値設定 ②ゼロエミッション活動の推進 ③再資源化ルートの確立 ④優良認定処理業者の選定 ⑤広域再生指定を受けているメーカーとの契約（石膏ボード等）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

がれき類_がれき類	がれき類_コンクリート破片	がれき類_アスコン破片	建設系混合廃棄物_管理型建設系混合廃棄物
42.00 t	7,063.52 t	1,543.67 t	103.29 t
42.00 t	0.00 t	0.00 t	103.29 t
0.00 t	7,063.52 t	1,543.67 t	90.28 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥_建設汚泥	廃プラスチック類
②計画	全処理委託量		700.00 t	5.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量		50.00 t	5.00 t
	再生利用業者への処理委託量		700.00 t	4.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ①リサイクル率の目標値設定 ②ゼロエミッション活動の推進 ③再資源化ルートの確立 ④優良認定処理業者の選定 ⑤広域再生指定を受けているメーカーとの契約(石膏ボード等)			
※事務処理欄				

②計画

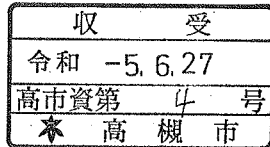
がれき類_アスコン破片	建設系混合廃棄物_管理型建設系混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物_石綿含有がれき類	
1,500.00 t	100.00 t	50.00 t	t
0.00 t	100.00 t	50.00 t	t
1,500.00 t	85.00 t	0.00 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月26日

（宛先）高槻市長



提出者

住 所 大阪市港区三先1丁目11番18号

氏 名 奥村組土木興業株式会社

取締役社長 奥村安正

電話番号 06-6572-5301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	奥村組土木興業株式会社
--------	-------------

事業場の所在地	大阪市港区三先1丁目11番18号
---------	------------------

計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
------	--------------------

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
--------	----------

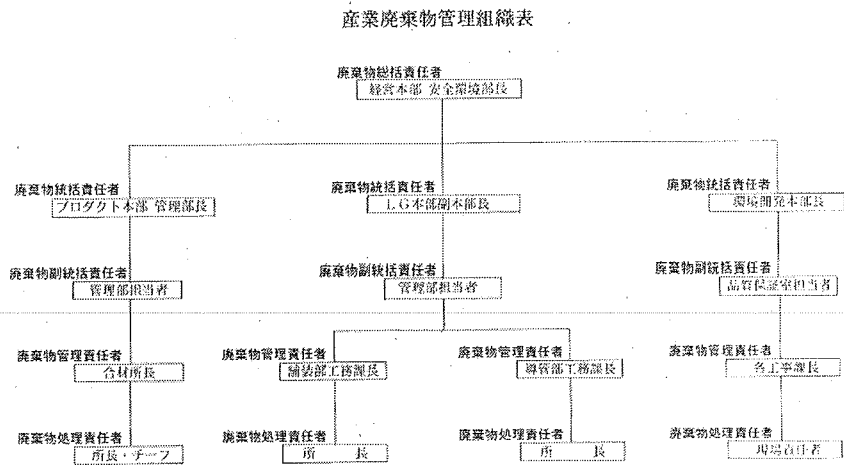
②事業の規模	完成工事高 4,888,968 万円
--------	--------------------

③従業員数	894人
-------	------

④産業廃棄物の一連の処理の工程	ケース1：廃棄物発生→保管→収集→最終処分 ケース1：廃棄物発生→保管→収集→中間処理→再生品 ケース1：廃棄物発生→保管→収集→中間処理→最終処分
-----------------	--

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	141.4 t	12.0 t
	(これまでに実施した取組) ・材料ロス率の削減。 ・余剰材の引き取り。 ・工法改善による産業廃棄物削減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	110.0 t	10.0 t
	(今後実施する予定の取組) ・上記の取り組みを維持する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類(コンクリート・アスファルト類)、木くずは分別するとともに、他の産業廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・細やかな分別に努める。 ・現状の取り組みを継続し、産業廃棄物抑制に努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

紙くず	木くず	伐採材	がれき類
8.7 t	12.1 t	3.58 t	2858.97 t

②計画

紙くず	木くず	伐採材	がれき類
5.0 t	10.0 t	0.0 t	2200.0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

コンクリートがら	アスコンがら	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
460.38 t	208.52 t	1.56 t	43.42 t

②計画

コンクリートがら	アスコンがら	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
350.0 t	150.0 t	0.0 t	30.0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	

②計画

t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	
t	t	t	

②計画

t	t	t	
t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	141.4 t	12.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	14.1 t	12.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図った。		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

紙くず	木くず	伐採材	がれき類
8.7 t	12.1 t	3.58 t	2858.97 t
t	t	t	t
8.7 t	12.1 t	3.58 t	2858.97 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	110.0 t	10.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	110.0 t	10.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者を選定する。 ・委託先処理業者には定期的実施確認を行う。 ・現状の取り組みを継続し、産業廃棄物抑制に努める。		
※事務処理欄			

②計画

紙くず	木くず	伐採材	がれき類
5.0 t	10.0 t	0.0 t	2200.0 t
t	t	t	t
5.0 t	10.0 t	0.0 t	2200.0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

コンクリートがら	アスコンがら	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
350.0 t	150.0 t	0.0 t	30.0 t
t	t	t	t
350.0 t	150.0 t	0.0 t	30.0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

前 年 度 (平成 4 年 度) 実 績

事業費等の種別	社 会 共 同 体										21年度 繰上支出等 繰上支出等 繰上支出等	22年度 繰上支出等 繰上支出等 繰上支出等
	1. 事業費等の種別	2. 事業費等の種別	3. 事業費等の種別	4. 事業費等の種別	5. 事業費等の種別	6. 事業費等の種別	7. 事業費等の種別	8. 事業費等の種別	9. 事業費等の種別	10. 事業費等の種別		
1 0221 ① 建設汚泥	141.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 0600 ② 仮プラスチック類	12.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 0700 ③ 紙くず	8.70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 0800 ④ 木くず	12.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 0811 ⑤ 伐根材	3.58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 1500 ⑥ かんきく類	2,858.97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 1501 ⑦ コンクリートがら	460.38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 1502 ⑧ アスコンがら	208.52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 2010 ⑨ 安定剤混合係	1.56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 2020 ⑩ 管理委託合係	43.42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
合計	3,750.03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)1)トン単価は原則として四角五入、ただし、数字が四角であれば四捨五入した下桁まで記載する。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 30日

（宛先）高槻市長

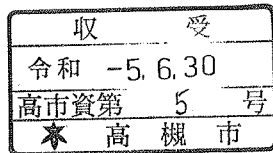
提出者

住 所 大阪市中央区伏見町3丁目2-6

氏 名 株式会社鍛冶田工務店
代表取締役社長 鍛冶田 八彦

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-4707-1351



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

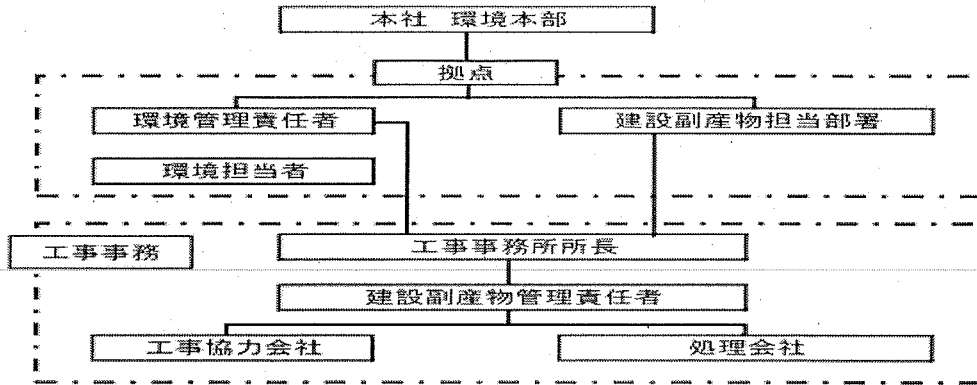
事業場の名称	株式会社鍛冶田工務店 大阪本社
事業場の所在地	高槻市管轄区域内
計画期間	2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合建設業
②事業の規模	完成工事高 22,400,000,000円
③従業員数	213名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥→脱水、乾燥、安定処理、焼成等（再生処理業者に委託）→再生土、管理型埋立 ・木くず→破砕（再生処理業者に委託）→再生資材、管理型埋立 ・ガラス・コンクリート・陶磁器くず→破砕（中間処理業者に委託）→再生資材、安定型埋立 ・がれき類→破砕（再生処理業者に委託）→再生砕石、再生アスファルト、安定型埋立 ・管理型混合廃棄物→分別（中間処理業者に委託）→再資源化、管理型埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排 出 量	0.35 t	1.375 t
	(これまでに実施した取組) ・工法の改善 ・梱包材の簡素化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排 出 量	0 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) ・これまで実施してきた取組みの継続と強化 ・混合廃棄物量削減と再資源化率向上の為分別収集の強化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

石膏ボード	その他がれき類	コンクリートガラ	アスコンガラ
4.95 t	42.22 t	172.58 t	14 t

②計画

石膏ボード	その他がれき類	コンクリートガラ	アスコンガラ
4 t	35 t	150 t	10 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

管理型混合廃棄物	汚泥		
105.82 t	1520 t	t	t

②計画

管理型混合廃棄物	汚泥		
100 t	1400 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	0 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・これまで実施してきた取組みの継続及び強化		
※事務処理欄			

②計画

石膏ボード	その他がれき類	コンクリートガラ	アスコンガラ
4 t	35 t	150 t	10 t
t	t	t	t
4 t	35 t	150 t	10 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

管理型混合廃棄物	汚泥		
100 t	1400 t	t	t
t	t	t	t
100 t	1400 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

